

# APCCU

## Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO

# ユネスコ・アジア文化センター



ESDの10年・地球市民会議2012 2012年11月27日 オリンピック記念青少年総合センター  
27 November 2012, Olympic Centre



# 日本のユネスコスクールによるESD 特徴と事例

## Characteristics and good practices of ESD by ASPnet schools in Japan

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)  
事業部次長 柴尾智子

**SHIBAO Tomoko**  
Deputy Director, Programme Department  
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)  
shibao@accu.or.jp



The background of the slide is a collage of various images showing people in different settings, including a group of children, a woman holding a child, a group of people in a community setting, and a woman holding a child. The images are overlaid with a semi-transparent orange filter.

## outline

### I 国連ESDの10年の目的

Objectives of the UNDESD

### II 日本のユネスコスクールによるESD:特徴と事例(政策と実践)

Characteristics of activities and good practices of ESD  
by ASPnet schools in Japan (policy and practice)

### III 成果と課題

Achievement and challenges



# I. 国連ESDの10年

## UN Decade of ESD (UN DESD)

United Nations Decade of

**E**ducation

**f**or

**S**ustainable **D**evelopment

2005-2014



Asia/Pacific Cultural Centre for UNESCO  
ACCPU



# I. 国連ESDの10年

## 国連ESDの10年(2005-2014)の目的

- ESDのステークホルダー間のネットワーク、連携、交流、相互作用を促進する。
- 持続可能な開発のための教授と学習の質の向上を推進する。
- ESDの努力を通じて各国のMDG(ミレニアム開発目標)目標の改善もしくは達成を支援する。
- 教育改革の過程にESDを組み込む新しい機会を、各国に提供する。

(国際実施計画2005、UNESCOから抄訳)



## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Policy

#### 1.政策による振興

- 学習指導要領
- ユネスコスクールをESDの拠点とし、数を増やし質を向上させるための文部科学省の施策
- 国連ESDの10年 国内実施計画
- 教育振興基本計画

## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Policy

ユネスコスクールをESDの拠点とし、数を増やし質を向上させるための文部科学省の施策が、ユネスコスクールの数を急激に増加させることに貢献。

ユネスコスクールはESDを強く意識して活動

— 啓蒙

— 研修

— 顕彰

— 全国大会

平成17年(2005年) 19校

平成24年(2012年)519校(10月現在)

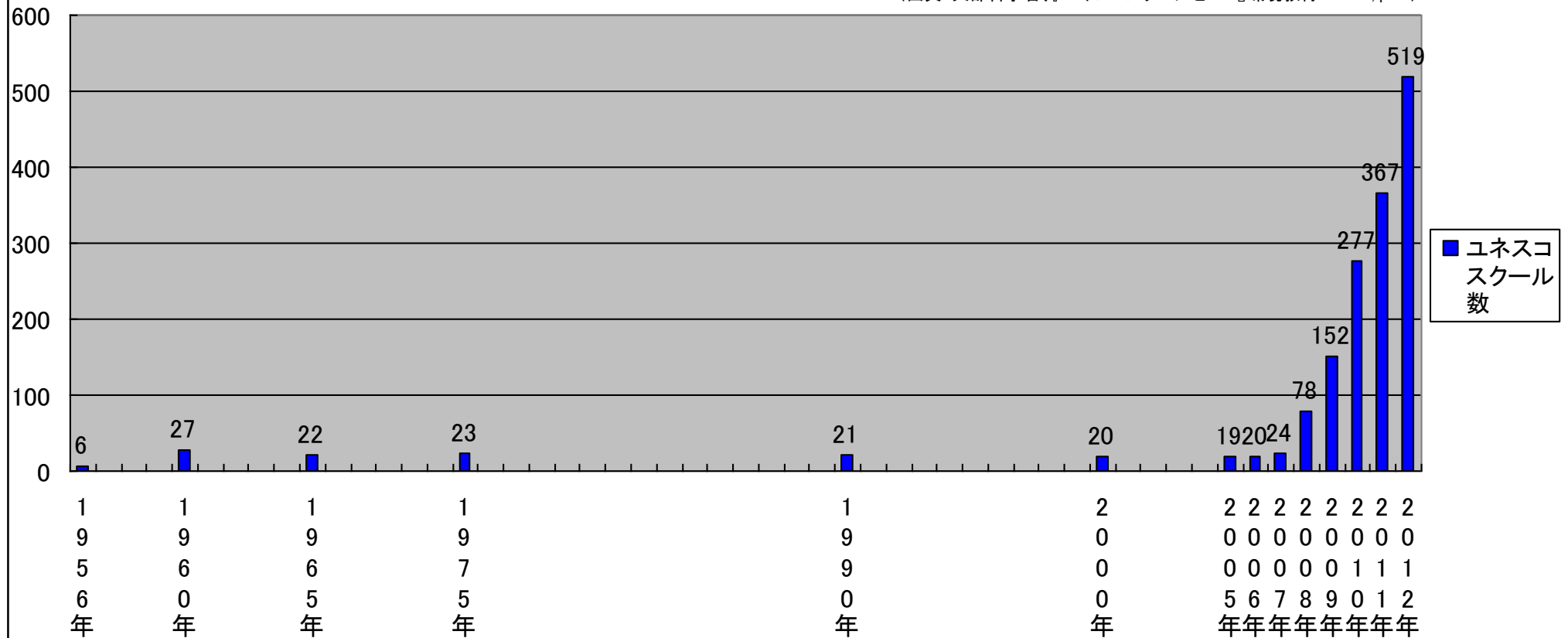


# II. ASPによるESD 特徴と事例

## Policy

日本のユネスコスクール数の推移(2012年10月現在)

(出典: 文部科学省、『ユネスコスクールとESD』環境教育No.163, p.65)







## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

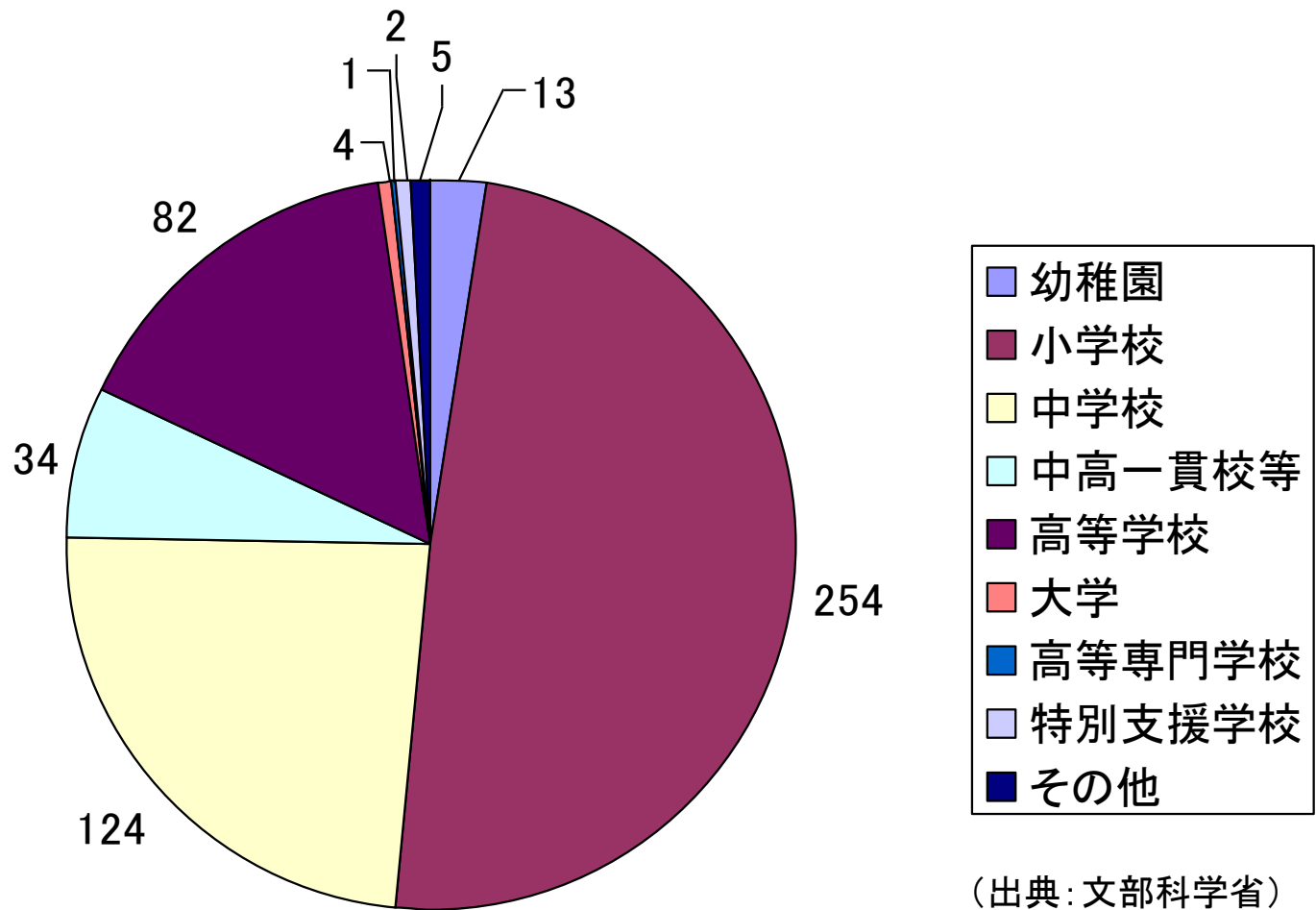
##### (1) 小学校のユネスコスクールが多い

→ 地域密着、コミュニティ重視

- 地域の環境を生かした環境教育からの取り組み
- ESDのなかで、地域の文化、伝統芸能、福祉、  
人権問題をとらえる努力
- 生活科・総合的な学習の時間の活用
- 地域コミュニティとの連携

## II. ASPによるESD 特徴と事例

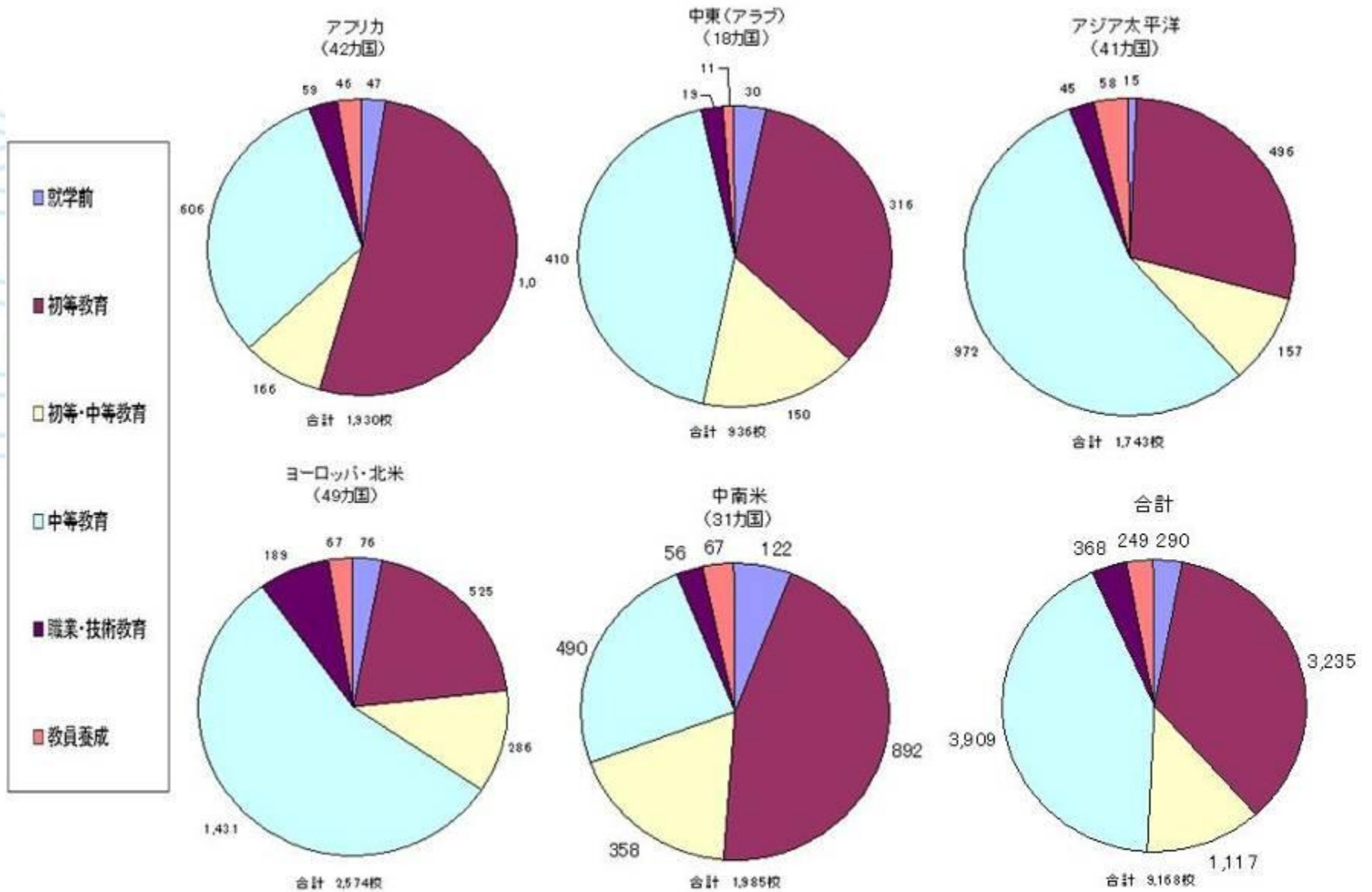
日本のユネスコスクールの学校別内訳(2012年10月現在)



# II. ASPによるESD 特徴と事例



Asia/Pacific Cultural Centre for UNESCO



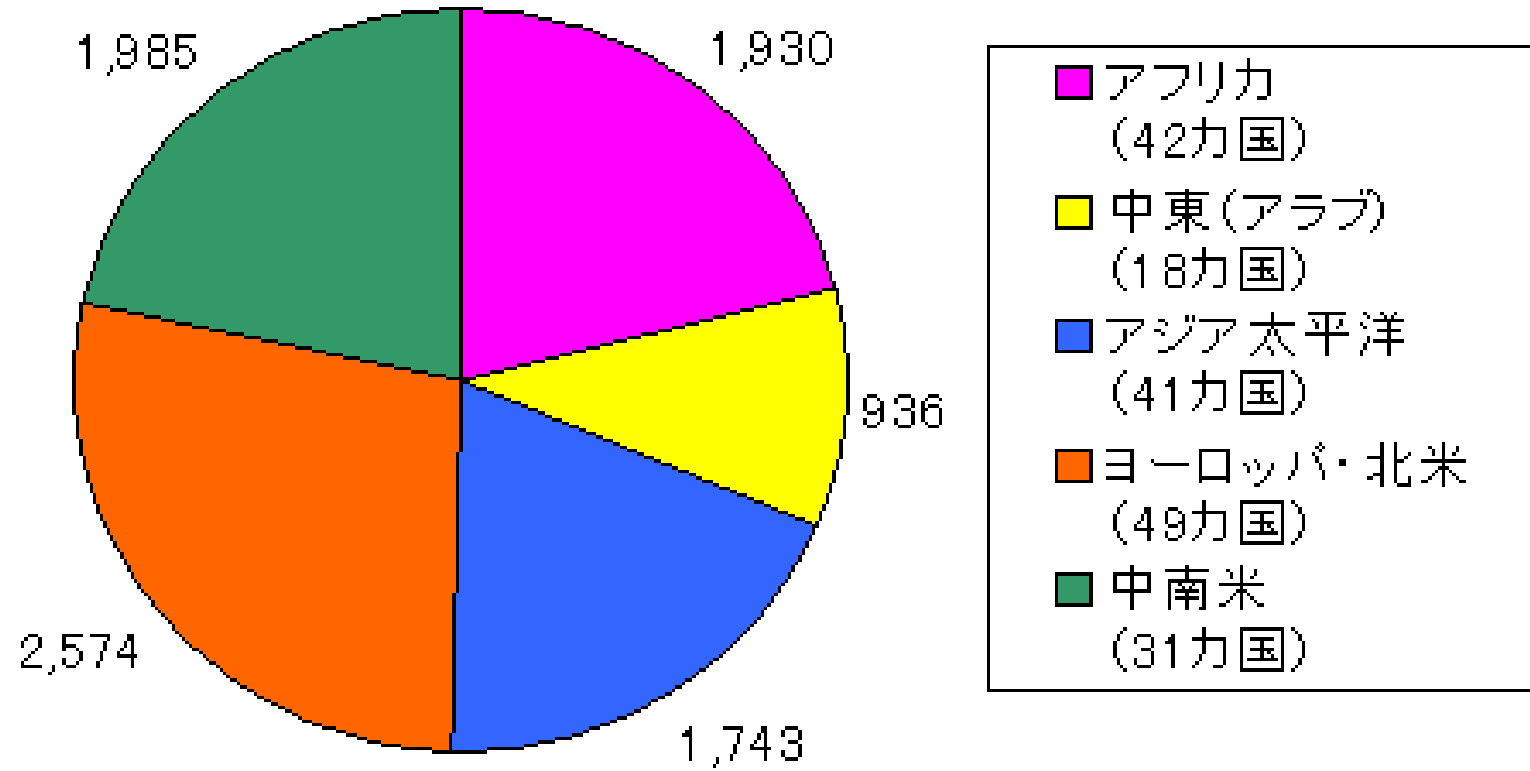
<ユネスコスクール 地域・学校段階別加盟校数(2011年6月現在)>

(出典:『ユネスコスクールとESD』環境教育No.163, p.63)



# II. ASPによるESD 特徴と事例

地域別合計加盟校数  
(181カ国)



合計 9,168校

# II. ASPによるESD 特徴と事例

## Practice

### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

#### (2) 自治体主導によるユネスコスクールの振興

宮城県気仙沼市

奈良県奈良市 \*

石川県金沢市

東京都多摩市

福岡県大牟田市 \*

北海道羅臼町 \*

岡山県岡山市

愛知県、愛知県下の市

広島県、等

\* ユネスコ世界遺産との関連による関心

## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

(3) ユネスコスクールを支援するための、高等教育機関(大学)のネットワーク: ASPUnivNet

- 申請支援
- 研修
- 継続的助言・支援 (カリキュラム、交流、記録、他)

# II. ASPによるESD 特徴と事例

## 加盟大学

ASPUnivNetには、現在、北海道教育大学釧路校、岩手大学、東北大学大学院環境科学研究科、宮城教育大学、玉川大学教育学部、金沢大学、岐阜大学、愛知教育大学、三重大学、大阪府立大学、奈良教育大学、岡山大学、広島大学大学院教育学研究科、鳴門教育大学、九州大学大学院言語文化研究院、立命館アジア太平洋大学、沖縄キリスト教学院大学・短期大学の17大学が加盟しています。



**フラッグシッププロジェクト**

- ・ 国境を超えた学校間の交流開始
- ・ フラッグシッププロジェクトアジア地域で展開

**ユネスコスクール地域間交流**

- ・ ユネスコスクール関連会議への教員の参加・調査・情報交換
- ・ 地域を超えた学校の授業実践

**ユネスコスクール加盟促進**

- ・ 地域のユネスコスクールへの加盟支援
- ・ 学校現場におけるESDの推進

**ユネスコスクール活動実践**

- ・ 地域ワークショップ開催
- ・ 地域におけるモデル・プロジェクト推進

(出典:ASPUnivNet事務局)

## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

##### (4)事例① 大阪ASPnet

- 教員の自主的ネットワーク
- 小中高大の生徒児童学生による国際的セミナーの開催
- ユネスコのプロジェクトに参加
  - ・ Japan Solidarity project, ESD Rice project
- ASPUnivNet(大阪府立大学)、自治体のサポート



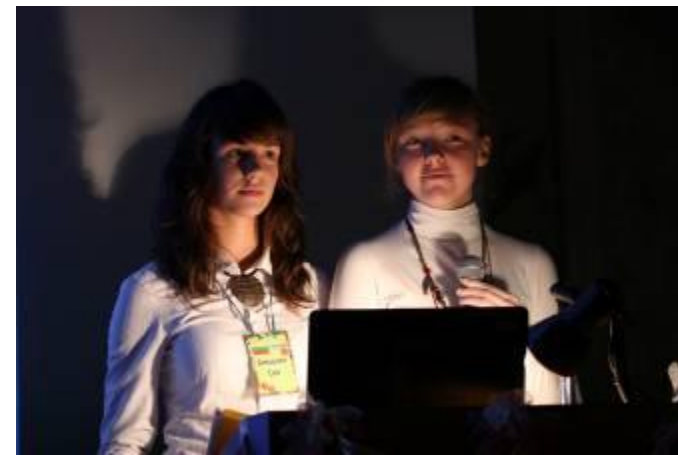
## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### ① 大阪ASPnet

国際的なユネスコスクールイベントの開催

「北欧7アジアカ国高校生ESD国際会議」2008年



©ASPnetOsaka

持続可能な社会への提案—高校生による共同宣言

この宣言を地球上の全てのいのちのために発信します。…



## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

##### (4) 事例②奈良ASPネットワーク

- 教員の自主的ネットワーク
- 教員および児童生徒の学び合いと交流・協力
- ユネスコのプロジェクト ESD Rice Projectの実施主体
- ASPUnivNet(奈良教育大学)・自治体(奈良市教育委員会)のサポート

## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### ②奈良ASPネットワークによるESD子どもキャンプ



- 毎年夏休みに開催(3年目)
- 淡路島→奈良県内の山間部  
→2012年は奈良教育大学  
内でキャンプ
- 大学のユネスコクラブの参画  
(教員志望者)
- 小中大大院教職員計91名の  
参加
- 主体それぞれによる学び



## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### 2. 多くのユネスコスクールによる多様な実践

##### (4) 事例③ 気仙沼市のユネスコスクール

- 学校の実践からスタートして市の取り組みへ(市のほとんどの学校がユネスコスクールという最初の事例)
- 国連大学のRCEや日本のユネスコスクールにモデル提供
- 3. 11
- 震災後に実感されたESDとユネスコスクールの意義・価値
- ESDの深化(ESD防災、教育が復興を牽引する、学校を中心とする町づくり)

# II. ASPによるESD 特徴と事例

## Practice

### ③ 気仙沼市のユネスコスクール：地域連携のモデル

#### 気仙沼のESD推進の連携体制(RCE)

気仙沼RCE推進委員会 2006.11.8



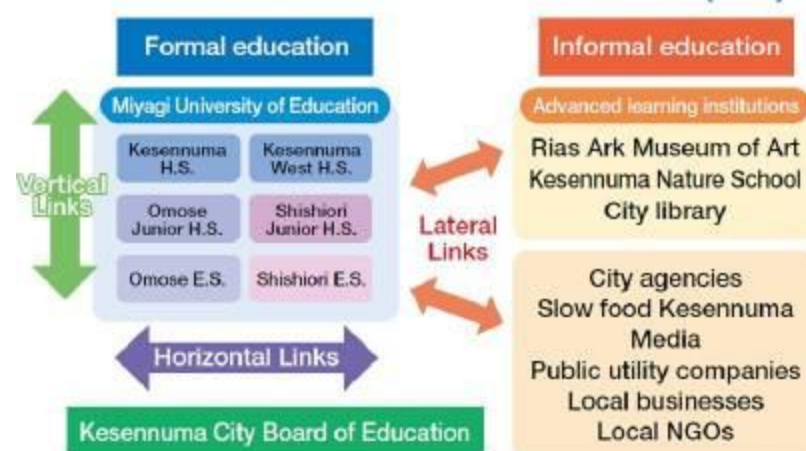
#### 気仙沼RCE推進委員会 (現在25機関)

2007.1.30 現在

専門機関	行政	企業・メディア	NPO&NGO	学校関係
宮城教育大学	【市関係】	東北電力	杜嶋の森をさう会	面瀬小学校
リアスアーク美術館	環境課	気仙沼漁工会議所 (スローフード気仙沼)	気仙沼ユネスコ協会	鹿折小学校
宮城県建築士会	まちづくり推進課	三陸新報社	気仙沼自然塾	鹿折小学校
気仙沼市立図書館	教育委員会	河北新報	NPO大島大好き	面瀬中学校
	【県関係】	【リアスの道】	気仙沼妹々の会	鹿折中学校
	宮城県 気仙沼土木事務所		地域教材研究会	鹿折中学校
				気仙沼高校
				気仙沼西高校

学びのベースとなる「地域・学校・専門機関との連携」の例として、文科省のパンフレット『ユネスコスクールと持続発展教育 (ESD)』に記載

#### Coalition to Promote ESD in Kesennuma (RCE)



# II. ASPによるESD 特徴と事例

## Practice

### ③気仙沼市のユネスコスクール:学校による共同調査

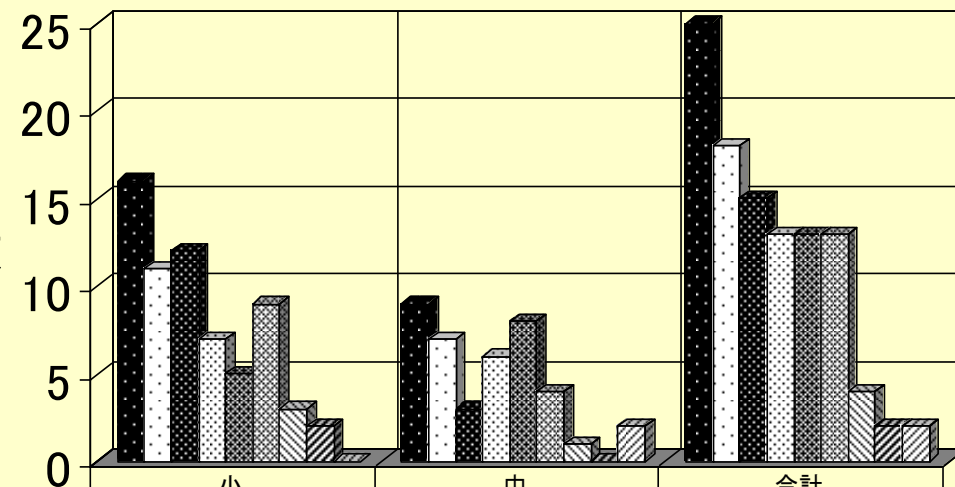
気仙沼市の地域に根ざしたESDの推進

(教頭会・成果と課題)

IV「持続発展教育(ESD)」を通じた児童生徒の変容

各校へのアンケート調査(H21,9, H22,7実 学校数 施設)の結果, これまでのESDの実践を通して児童生徒の変容として, 次のような資質能力が向上したとの報告があった。(複数回答可)

ESDの取組による児童生徒の変容(H22,7)



■ ①自然への畏敬と感謝の心, 環境保全の態度	16	9	25
□ ②地域・外国の環境, 社会とのつながりの認識	11	7	18
■ ③自国と他国文化理解と保護の態度, 郷土愛	12	3	15
□ ④コミュニケーション能力と受容の精神	7	6	13
■ ⑤観察力, 表現力, 問題解決能力と行動・実践力	5	8	13
■ ⑥協働と勤労意欲, 社会貢献の態度	9	4	13
■ ⑦危険(災害)を予知する力と回避する力	3	1	4
■ ⑧国際的な視野と未来を見通す力	2	0	2
■ ⑨取組期間が短いので変容がまだ見られない	0	2	2

## II. ASPによるESD 特徴と事例

### Practice

#### ③気仙沼市のユネスコスクール:3.11と復興



## II. ASPによるESD 特徴と事例

### ③気仙沼市のユネスコスクール: 3.11と復興



©Kudo Mayumi, ACCU

自助、共助、公助+「N助」  
ESD防災、まちづくり



# III. 成果と課題

## 成果

### 1. 教員の大交流

- 国内各地域間で
- 教科、学校種を超えて
- 海外との交流

海外の教員にユネスコスクール・ESDへの関心と共感を  
広める

+共同プロジェクトの実施



# III. 成果と課題

## 成果

### 2. ユネスコスクールの新しいモデル

- ユネスコの理念を実現するためのユネスコスクールが地域内で協力し合う
- 学校と地域の協力・連携

# III. 成果と課題

## 成果

### 3. 国連ESDの10年の目的 ユネスコスクールを中心とするモデル

ユネスコスクールが主体となって、

- ESDのステークホルダー間のネットワーク、連携、交流、相互作用を促進。
- 持続可能な開発のための教授と学習の質の向上を推進。

日本のユネスコスクールが、ESD実践をきっかけに、

途上国のMDG目標改善・達成を支援

日本のユネスコスクールは、国連ESDの10年を契機として、教育実践に

- ESDを組み込んでいる。



# III. 成果と課題

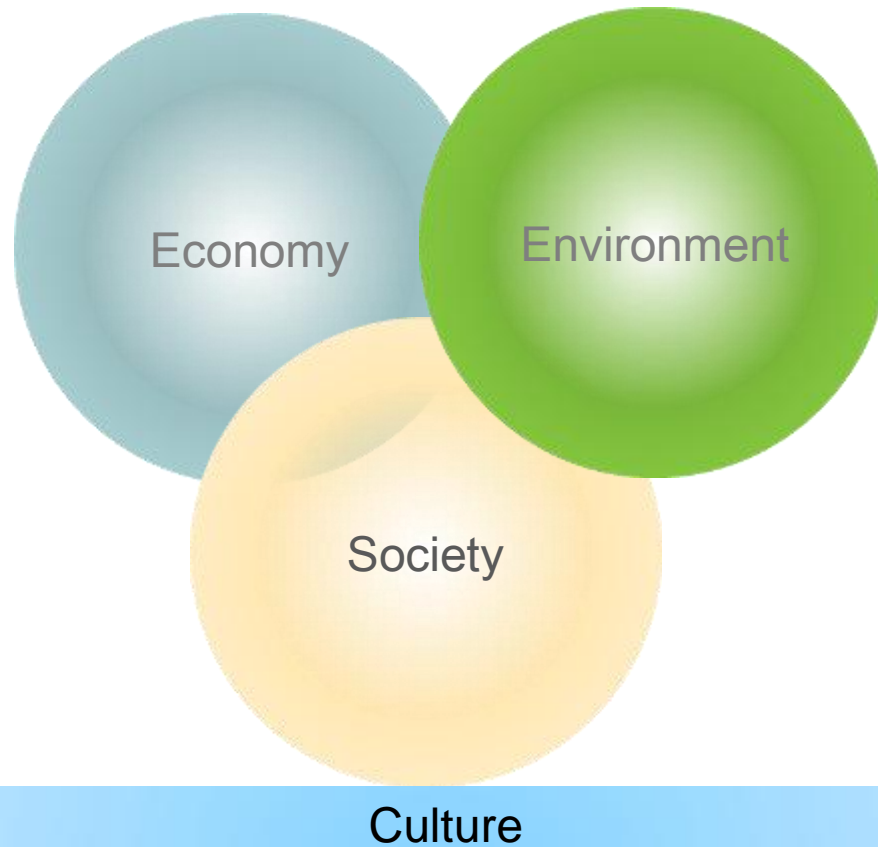


## 課題

- 事例の体系化・理論化
- 交流(国内外のユネスコスクールとの学校間交流)  
(例ユネスコのプロジェクト ESD Rice project)
- 持続可能性のためのwhole school approach, whole system approach への深化の過程

# *Vision*

- 公正で持続可能な社会づくりのためにユネスコスクールが世界中に広がるネットワークの力をいかして貢献していく。
- ユネスコスクールの活動が持続可能な発展をする社会によって支えられる。





<http://www.accu.or.jp>